呼吸器内科（必須）

1．到達目標

（1） 一般目標 GIO

医師としての倫理観と患者中心の姿勢を培い、プライマリ・ケアに必要な呼吸器診療の基本的知識・技能・態度を修得する。指導医に適切に相談しながら、頻度の高い呼吸器疾患の初期評価と基本的対応を行えることを目標とする。

（2） 行動目標 SBOs

ア 咳嗽、喀痰、呼吸困難、胸痛、発熱について問診・診察を行い、問題点を診療録に記載できる。

イ 肺炎、喘息・COPD、呼吸不全などの基本的な鑑別を挙げ、必要な検査を指導医に相談できる。

ウ 胸部Ｘ線・CT、血液ガス、呼吸機能検査の基本所見を説明し、病態と関連づけられる。

エ 検査・治療の目的を理解し、指導医とともに患者・家族へ説明して、意向を確認できる。

オ 基本的な薬物療法・酸素療法を説明し、重症化の徴候を認識して速やかに報告できる。

カ 肺がんの診断・治療の流れと化学療法の主な副作用、疼痛・呼吸困難の緩和の基本を説明できる。

キ 睡眠時無呼吸の症状・検査と CPAP 療法の目的を説明できる。

ク 看護師・薬剤師・リハビリ職等と情報共有し、カンファレンスで症例の要点を報告できる。

ケ 患者確認、感染予防、報告・連絡・相談を実践し、インシデント発生時の報告手順を説明できる。

コ 指導医の直接監督下で動脈血採血を行い、胸水穿刺の適応・合併症を説明し、実施または介助できる。

サ 気管支鏡検査の目的・安全管理を説明し介助できる。NPPV・挿管人工呼吸の基本的適応を説明できる。

シ 担当症例の疑問を文献・診療指針で調べ、指導医との検討に用い、学習課題を振り返ることができる。

2．方略 LS

（1） 外来診療

毎週水曜日に指導医のもとで初診患者等の問診・診察を行い、初期評価と検査・治療方針を相談する。入院した患者は原則として担当する。

（2） 病棟診療

担当患者の診察・診療録記載を毎日行い、検査結果と問題点を指導医に報告する。肺がん・睡眠時無呼吸を含む担当症例を通じて診療の基本を学び、説明、治療、退院支援に参加する。カンファレンスで症例を提示し、検討内容を診療録に記載する。手技は事前に適応と安全手順を確認し、習熟度に応じて直接監督下で行う。

（3） 初期救急対応

日勤時間の呼吸器救急に指導医とともに対応し、バイタルサイン・血液ガス等から緊急度を評価する。必要な検査、酸素投与等の初期対応を指導医に相談して実施する。

指導医は診療方針・指示内容と診療録を毎日確認し、指導内容を記録する。経験した症例・手技と到達度を記録し、不足する経験を調整する。

3．評価 Ev

全科共通の研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用い、指導医・上級医が看護師等の多職種の意見と研修医の自己評価を踏まえて評価する。診療の直接観察、診療録・症例提示、手技の実施記録から各目標の達成度を確認する。中間時と終了時にフィードバックし、未達成項目と次の課題を共有する。必修では、基本的な評価・対応と適切な相談ができるかを確認する。

4．週間スケジュール

担当患者の検査・治療への参加を優先し、日勤時間の救急診療にも参加する。下記以外は病棟診療とし、当直翌日は原則帰宅して休養する。

	月	火	水	木	金
午前	病棟	病棟	外来	病棟	病棟
午後	病棟	気管支鏡検査	病棟	病棟	気管支鏡検査
夕	—	入退院 カンファレンス	—	公開カンファ （第３週）	—